

第5期 豊島区子ども・子育て会議（第5回）次第

日時：令和6年3月21日（木）

午前10時～

会場：レクチャールーム

（808・809 会議室）

1 開 会

2 議 事

（1）新設施設の定員の認定について

資料1

（2）私立幼稚園の特定教育・保育施設への移行について

資料2

（3）アンケート調査について前回との比較

資料3

（4）第三期子ども・子育て支援事業計画策定について

資料4

3 閉会

【資 料】

資料1 新設施設の定員の認定について

資料2 私立幼稚園の特定教育・保育施設への移行について

資料3 アンケート調査回収率と前回との比較

資料3－2 保護者へのアンケート結果について前回との比較

資料3－3 豊島区子ども・若者の実態・意識に関する調査（抜粋）

資料4 豊島区子ども・若者総合計画改定スケジュール（案）

新規施設の定員の設定について

区内の私立認可保育所について、事業譲渡等による設置主体の変更に伴い、特定教育・保育施設としての確認を受けたい旨の申請があったため、子ども・子育て支援法（平成24年法律第6号）第31条第2項の規定により、豊島区子ども・子育て会議の意見を聴取する。

1 概要

- 【施設名】ミアヘルサ保育園ゆらりん椎名町
※旧保育施設名称：ゆらりん椎名町保育園
- 【設置主体】ミアヘルサ株式会社
※旧設置主体：ライフサポート株式会社
- 【施設類型】認可保育所
- 【所在地】豊島区長崎1-10-8
- 【開所時間】月～土曜日：7時15分～18時15分
延長時間：18時16分～19時15分

2 事業開始予定年月日

令和6年4月1日

3 利用定員（2号・3号認定）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
6人	10人	11人	11人	11人	11人	60人

※設置主体の変更による定員の増減はなし

私立幼稚園の特定教育・保育施設への移行について

区内の私立幼稚園より、子ども・子育て支援制度に移行するため、特定教育・保育施設としての確認を受けたい旨の申請があったため、子ども・子育て支援法（平成24年法律第6号）第31条第2項の規定により、豊島区子ども・子育て会議の意見を聴取する。

1 概要

【施設名】 愛心幼稚園

【設置者】 学校法人 名倉学園

【移行後の施設類型】 幼稚園

【所在地】 豊島区目白5-7-6

【開所時間】 月・火・木・金曜日：9時～14時

水曜日：9時～13時30分

【預かり保育】 月・火・木・金曜日：14時～17時

水曜日：13時30分～16時30分

2 移行予定時期

令和6年4月1日

3 利用定員（1号認定）

3歳児	4歳児	5歳児	計
25人	25人	25人	75人

※3学級（1学級あたり25人）

アンケート調査回収率と前回との比較

アンケート調査の結果（速報値、単純集計）

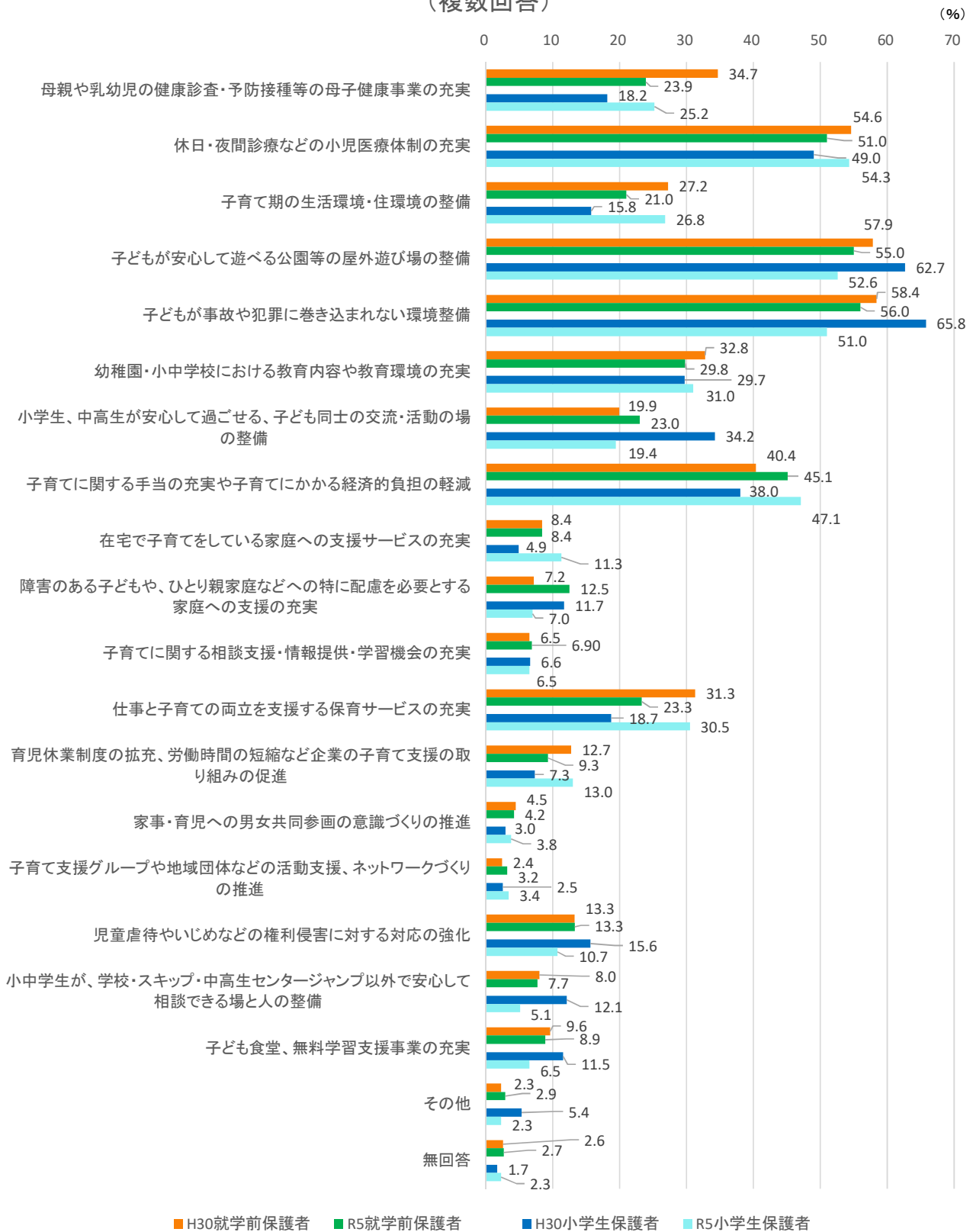
（１）回収率

調査票種類	対象者	配布数		回収数		回収率	
就学前児童保護者	0～5歳保護者	1,500		816			54.4%
小学生保護者	小学１～３年生保護者	1,500	750	657	376		43.8%
	小学４～６年生保護者		750		281		37.5%
中高生保護者	中学生保護者	750		246			32.8%
	高校生保護者	750		209			27.9%
小中学生	小学４～６年生本人	750		213			28.4%
	中学生本人	750		180			24.0%
高校生	高校生本人	750		148			19.7%
若者	18～29歳若者	1,500		280			18.7%
地域団体等		350		220			62.9%
区施設職員		300		278			92.7%
計		8,900		3,258			36.6%

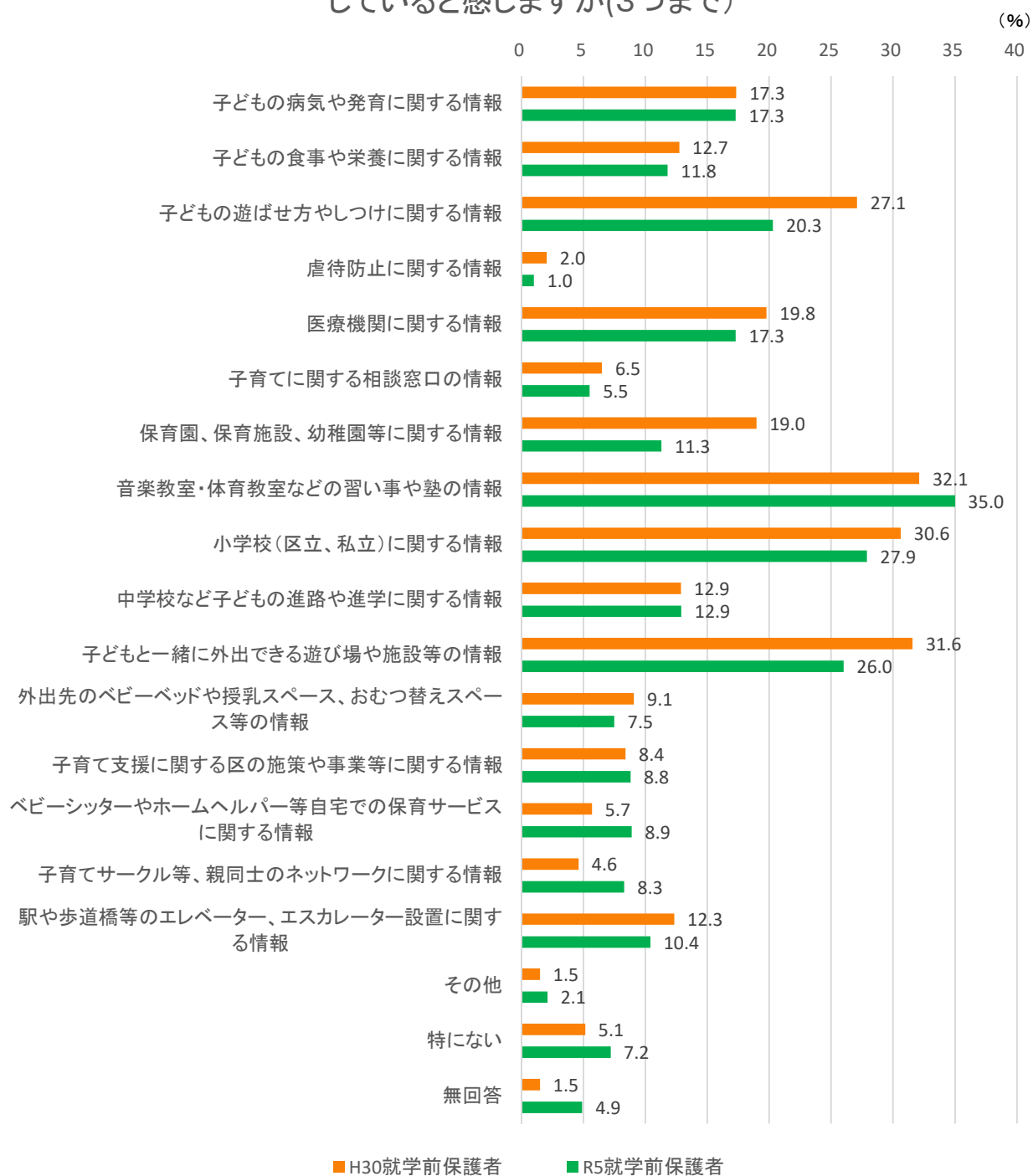
（２）前回の回収率との比較

	調査票種類		対象者	件数	H30 回収率	R5 回収率
1	保護者	就学前児童保護者	0～5 歳の子どもの保護者	1,500 件	49.2	54.4
2		小学生保護者	6～11 歳の子どもの保護者	1,500 件	47.3	43.8
3		中学・高校生等保護者	12～17 歳の子どもの保護者	1,500 件	36.3	30.3
4	子ども 若者	小学校 4～6 年生	上記 2 の世帯の 9～11 歳の子ども本人	750 件	37.2	28.4
5		中学生・高校生等	上記 3 の世帯の子ども本人	1,500 件	30.3	21.9
6		若者	18 歳～29 歳の若者本人	1,500 件	20.1	18.7
合計				8,250 件	36.7	33.5
7	地域団体等	地域団体等	町会長、民生・児童委員、保護司、青少年育成委員等	350 件	60.5	62.9
8		区施設職員	保育園、幼稚園、小中学校、子どもスキップ等の職員	300 件	90.7	92.7
合計				650 件	74.5	76.6

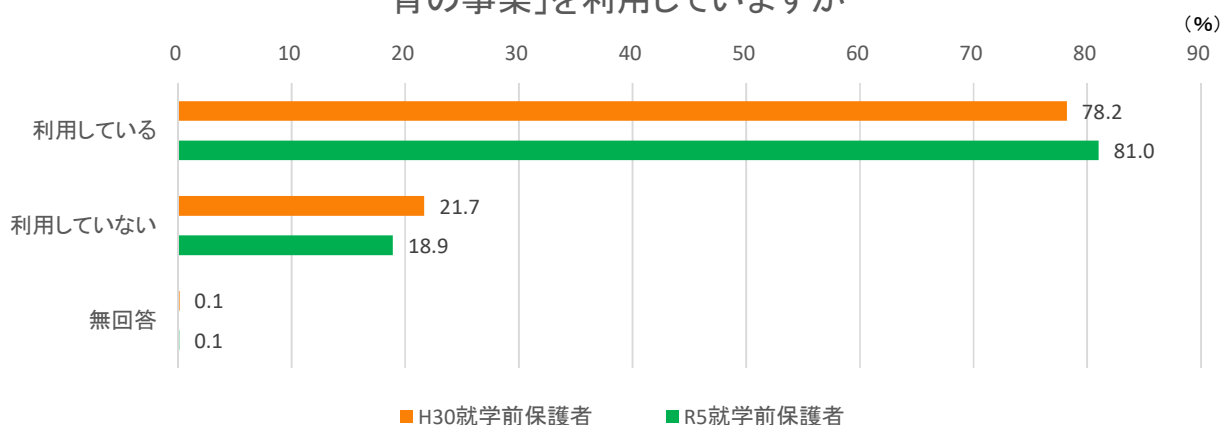
保護者へのアンケート結果について前回との比較

①子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか
(複数回答)

②現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足 していると感じますか(3つまで)



③ ★お子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか

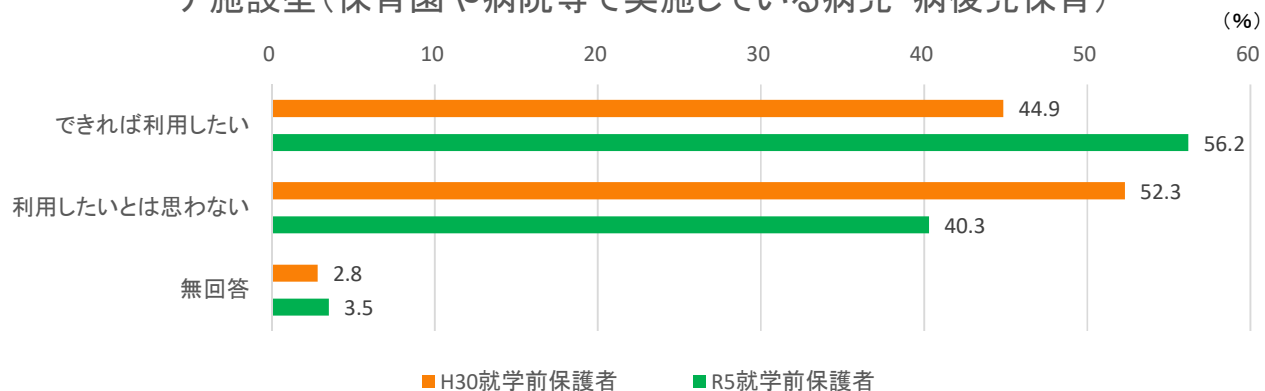


③-1 ★の設問で「1. 利用している」を選んだ方]お子さんは、平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用していますか(複数回答)



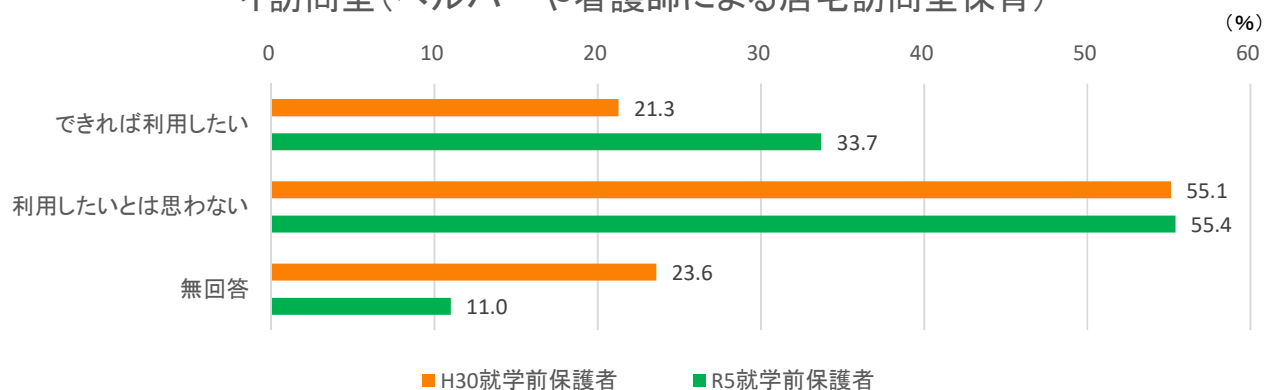
④「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」
と思われましたか

ア施設型（保育園や病院等で実施している病児・病後児保育）

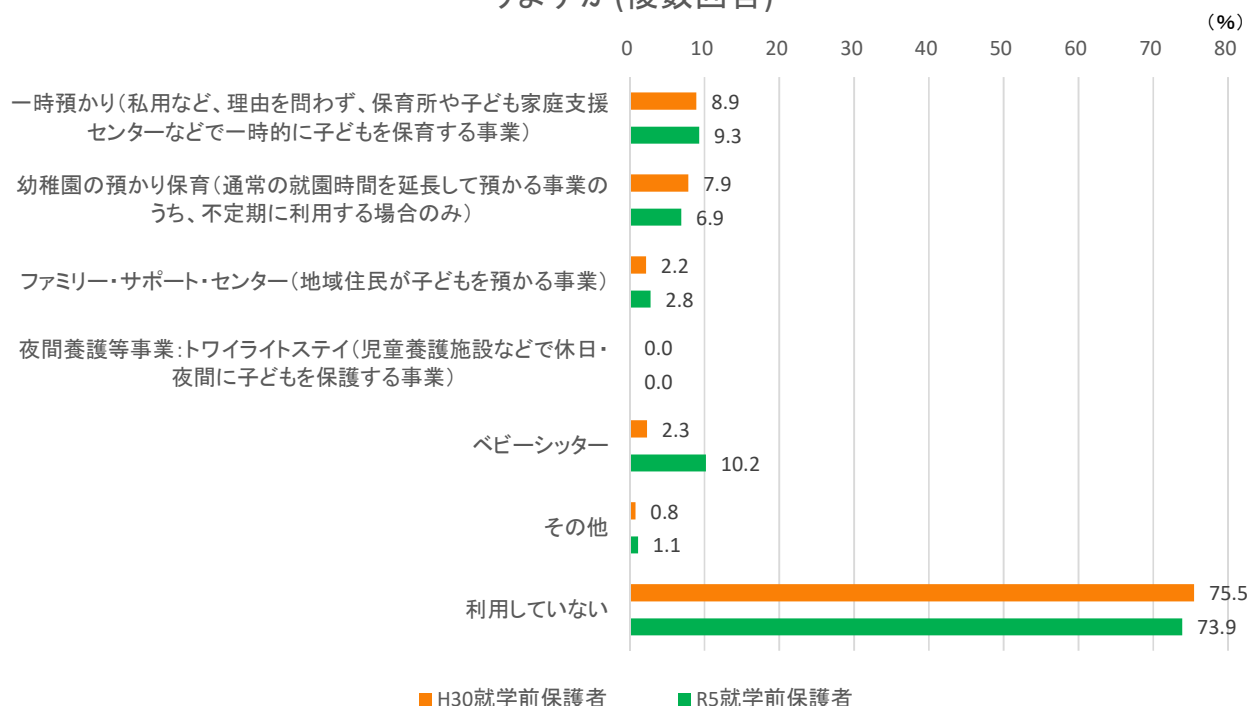


⑤「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」
と思われましたか

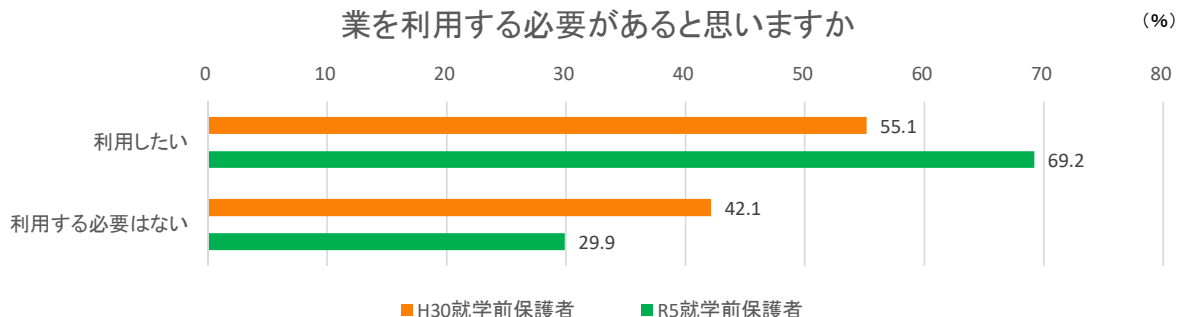
イ訪問型（ヘルパーや看護師による居宅訪問型保育）



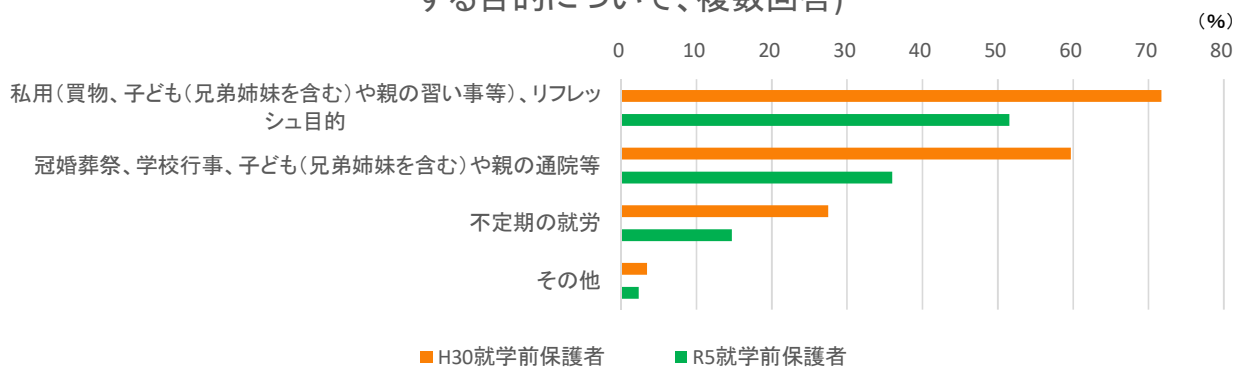
⑥日中の定期的な保育や病気のため以外に、親の通院、不規則の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不規則に利用している事業はありますか(複数回答)



⑦お子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか



⑦ー1 お子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか (⑦のうち、利用を希望する目的について、複数回答)



豊島区子ども・若者の実態・意識に関する調査

3/22 案（抜粋）

令和6年3月
豊島区

第1章 調査の実施概要

1 アンケート調査の実施概要

1-1 調査目的

「豊島区子ども・若者総合計画」（令和2年3月策定）を改定するにあたり、豊島区の子どもや若者に関する施策に役立てるため、子どもの生活実態や子育て支援に関するご意見をお伺いしました。

1-2 調査期間と方法

- 調査期間：令和5年11月10日（金曜日）から12月1日（金曜日）
- 調査方法：郵送による配布、郵送およびWEBによる回収
（区民対象調査については礼状を兼ねた督促を実施）

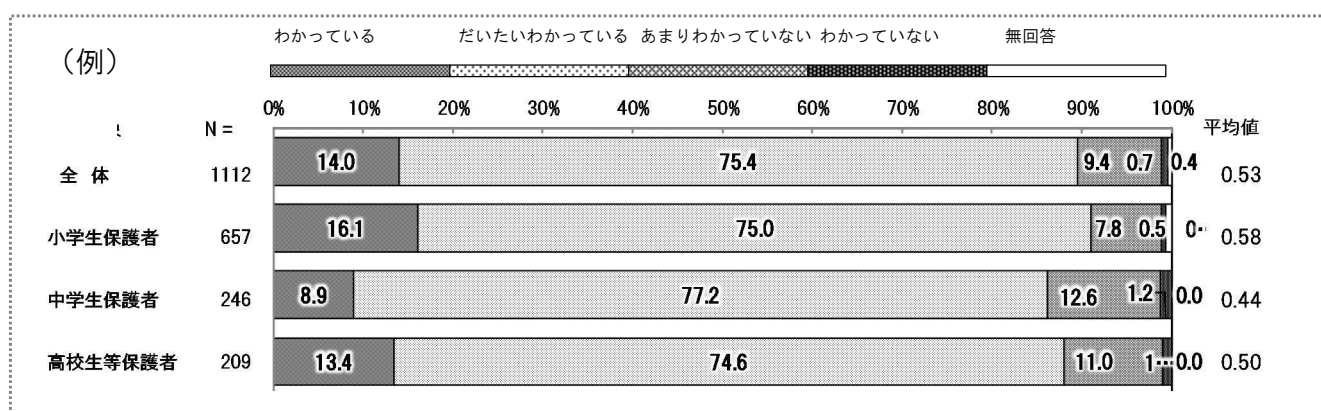
1-3 調査対象

調査票種類	対象者	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者	0～5歳保護者	1,500	816	54.4%
小学生保護者	小学1～3年生保護者	1,500	657	43.8%
	小学4～6年生保護者	750	281	37.5%
中高生保護者	中学生保護者	750	466	31.1%
	高校生保護者	750	209	27.9%
	（無回答）		11	—
小中学生	小学4～6年生本人	750	213	28.4%
	中学生本人	750	180	24.0%
高校生	高校生本人	750	148	19.7%
若者	18～29歳若者	1,500	280	18.7%
地域団体等		350	220	62.9%
区施設職員		300	278	92.7%
計		8,900	3,258	36.6%

* 無回答をのぞく

1-4 調査結果の見方

- ・ 本文、図表において、調査票の設問文や選択肢は簡略化して表記することがあります。
- ・ 図・表中の N、調査数とは、調査の回答者の実数を表します。
回答は N（調査数）を 100%とした百分率で算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、各比率の合計値と全体の比率、図表の比率の合計値として記載した本文の比率と図表に記載された数値の合計が一致しないことがあります。
- ・ 複数回答（あてはまるものすべてに○）の比率の合計は、100%にならず、超えることもあります。
- ・ 程度を把握する設問については、集計区分間で比較しやすいよう、例えば、「そう思う」～「そう思わない」の 4 件法であれば、「そう思う」を 1.5、「どちらかといえばそう思う」を 0.5、「どちらかといえばそう思わない」を-0.5、「そう思わない」を-1.5 と、まん中の評価を 0 としたプラスとマイナスで点数化し、
その平均値を算出してグラフ右側に掲載しました。

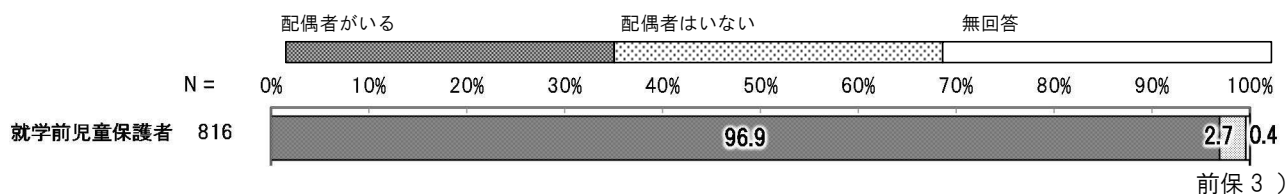


- ・ （複数回答）については、「無回答」を掲載していません。

7-6 保護者の状況

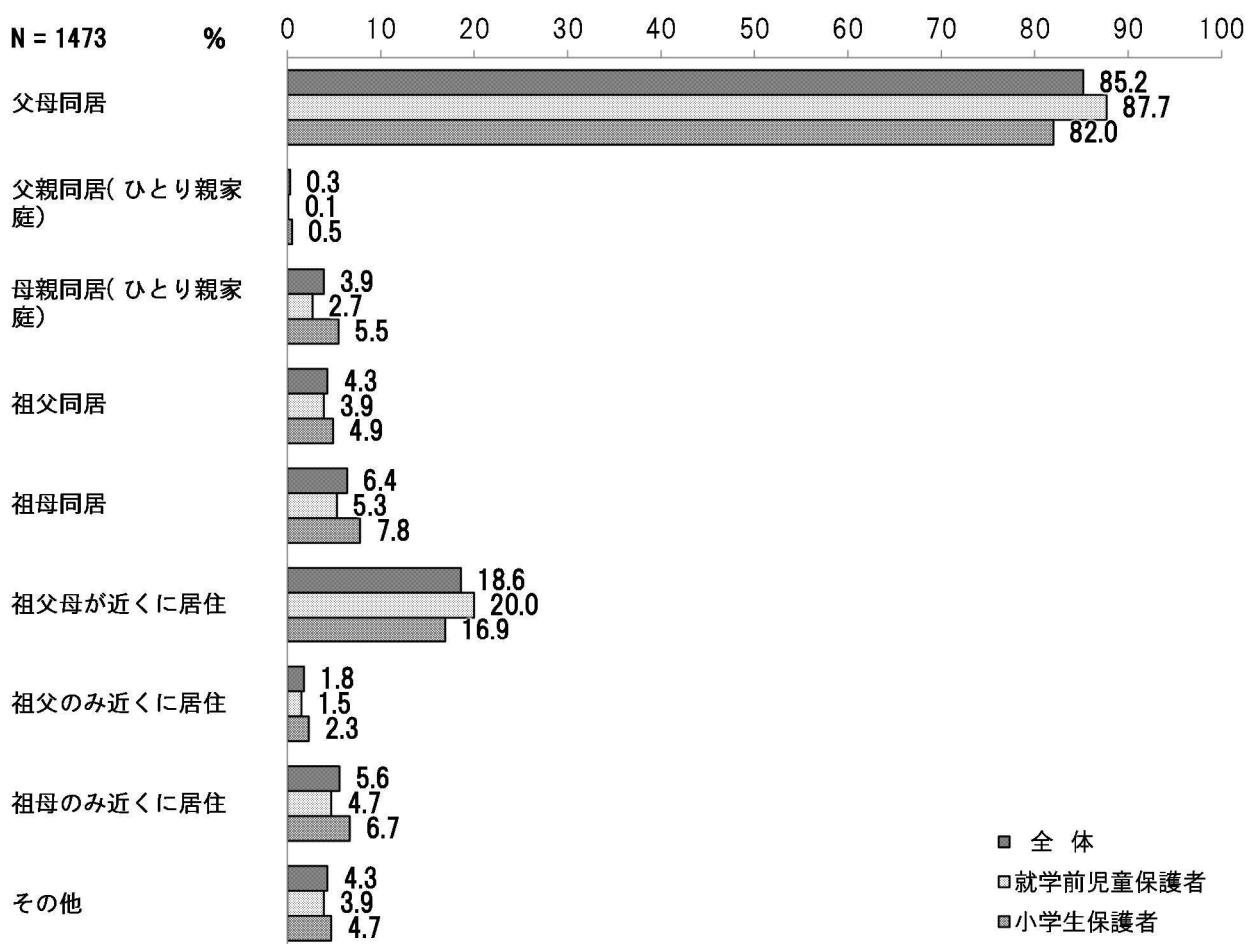
■ 7-6-1) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「配偶者がいる」が最も多く 96.9%でした。



■ 7-6-2) お子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について (複数回答)

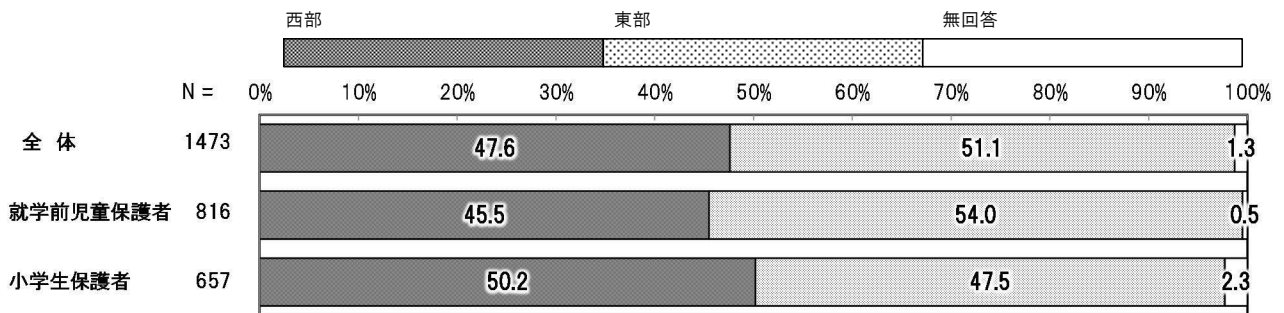
- ・ 就学前児童保護者と小学生保護者はいずれも就学前児童保護者は「父母同居」が最も多く、就学前児童保護者で 87.7%、小学生保護者で 82.0%でした。次いで「祖父母が近くに居住」が、就学前児童保護者で 20.0%、小学生保護者で 16.9%でした。



前保 5 小保 6)

■ 7-6-3) お住まいのまちはどこですか。 SA

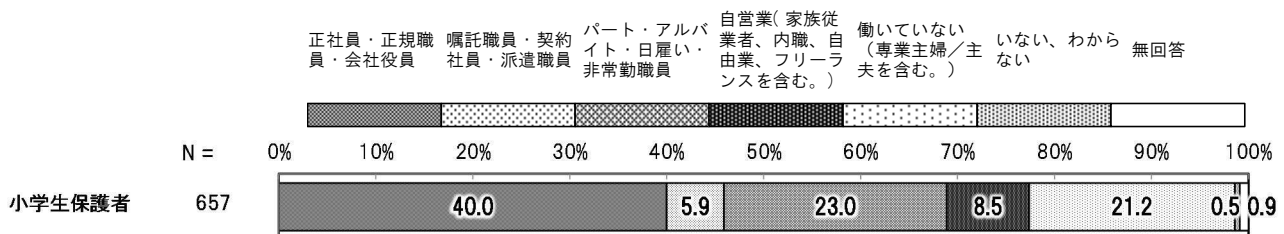
- ・ 就学前児童保護者は「西部」が 45.5%、「東部」が 54.0%でした。
- ・ 小学生保護者は「西部」が 50.2%、「東部」が 47.5%でした。



前保 6 小保 7)

■ 7-6-4) お子さんの親の就労状況：母親 SA

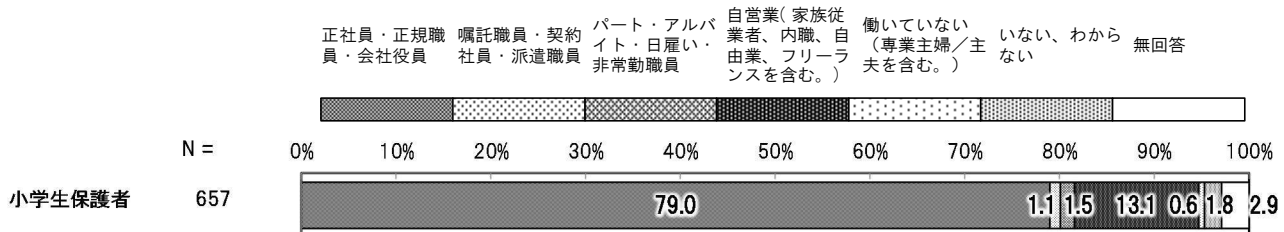
- ・ 小学生保護者は「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く 40.0%、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 23.0%でした。



小保 8)

■ 7-6-5) お子さんの親の就労状況：父親 SA

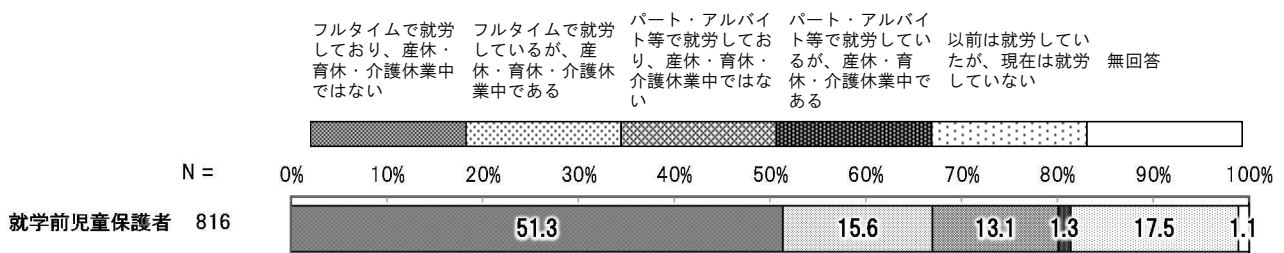
- ・ 小学生保護者は「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く 79.0%、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が 13.1%でした。



小保 8)

■ 7-6-6) お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）：母親 SA

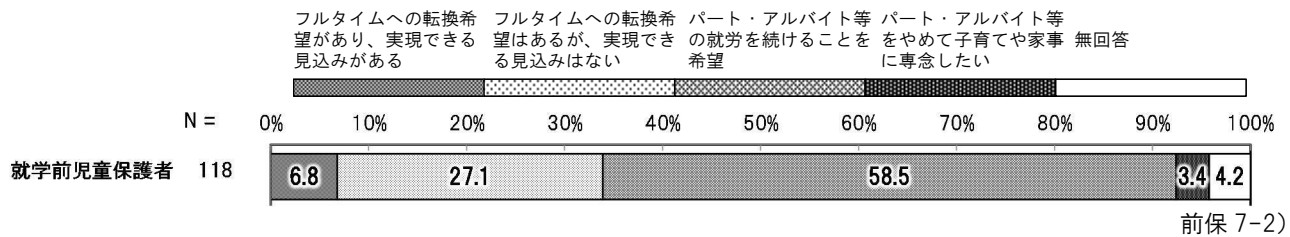
- ・ 就学前児童保護者は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 51.3%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 17.5%でした。



前保 7)

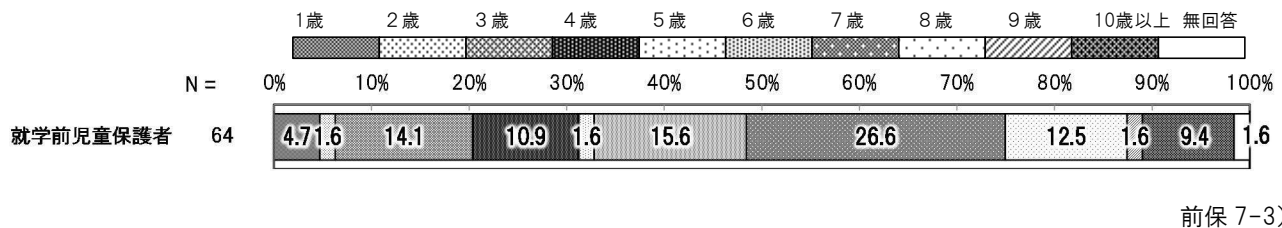
■ 7-6-7) フルタイムへの転換希望：母親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く 58.5%、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 27.1%でした。



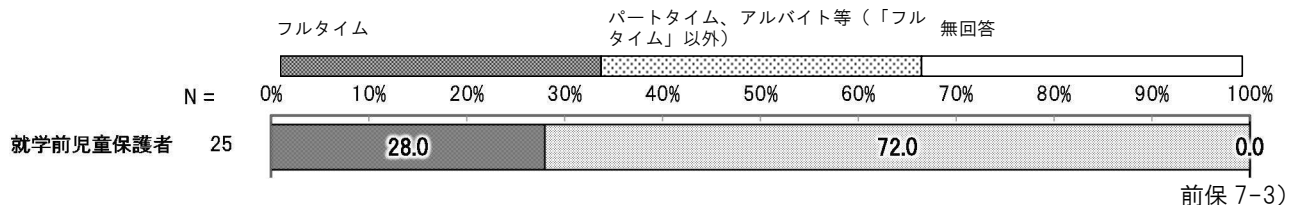
■ 7-6-8) 就労したいという希望はありますか。：母親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になった頃に就労したい」が最も多く 43.4%、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 37.8%でした。



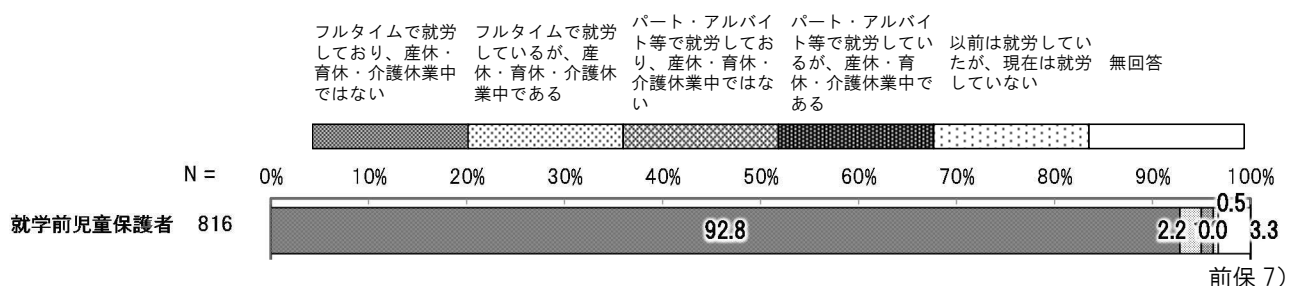
■ 7-6-9) すぐにでも就労したい場合、希望する就労形態：母親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が最も多く 72.0%でした。



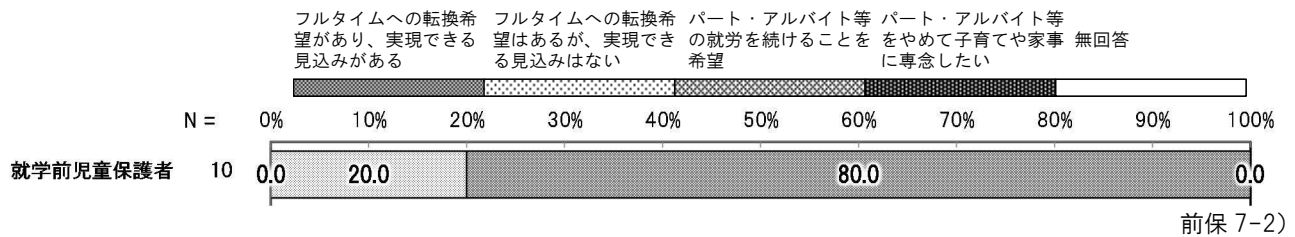
■ 7-6-10) お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）：父親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 92.8%、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 2.2%でした。



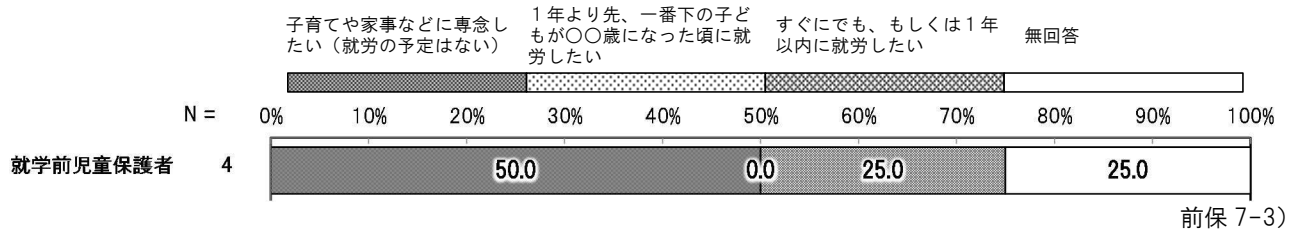
■ 7-6-1 1) フルタイムへの転換希望：父親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く 80.0%、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 20.0%でした。



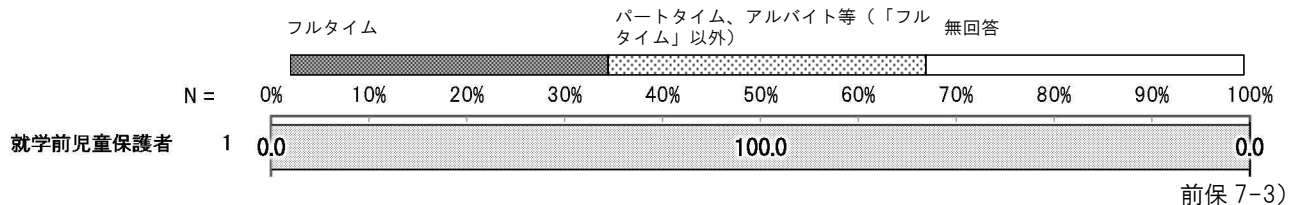
■ 7-6-1 2) 就労したいという希望はありますか。：父親 SA

- ・ 就学前児童保護者は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が最も多く 50.0%、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 25.0%でした。



■ 7-6-1 3) すぐにでも就労したい場合、希望する就労形態：父親 SA

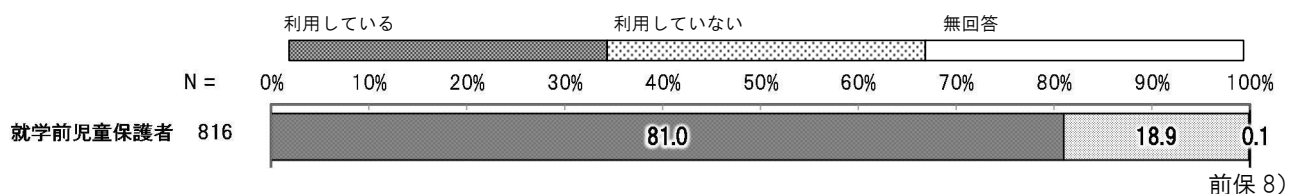
- ・ 就学前児童保護者は「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が 100.0%でした。



7-7 子育て支援事業の利用状況

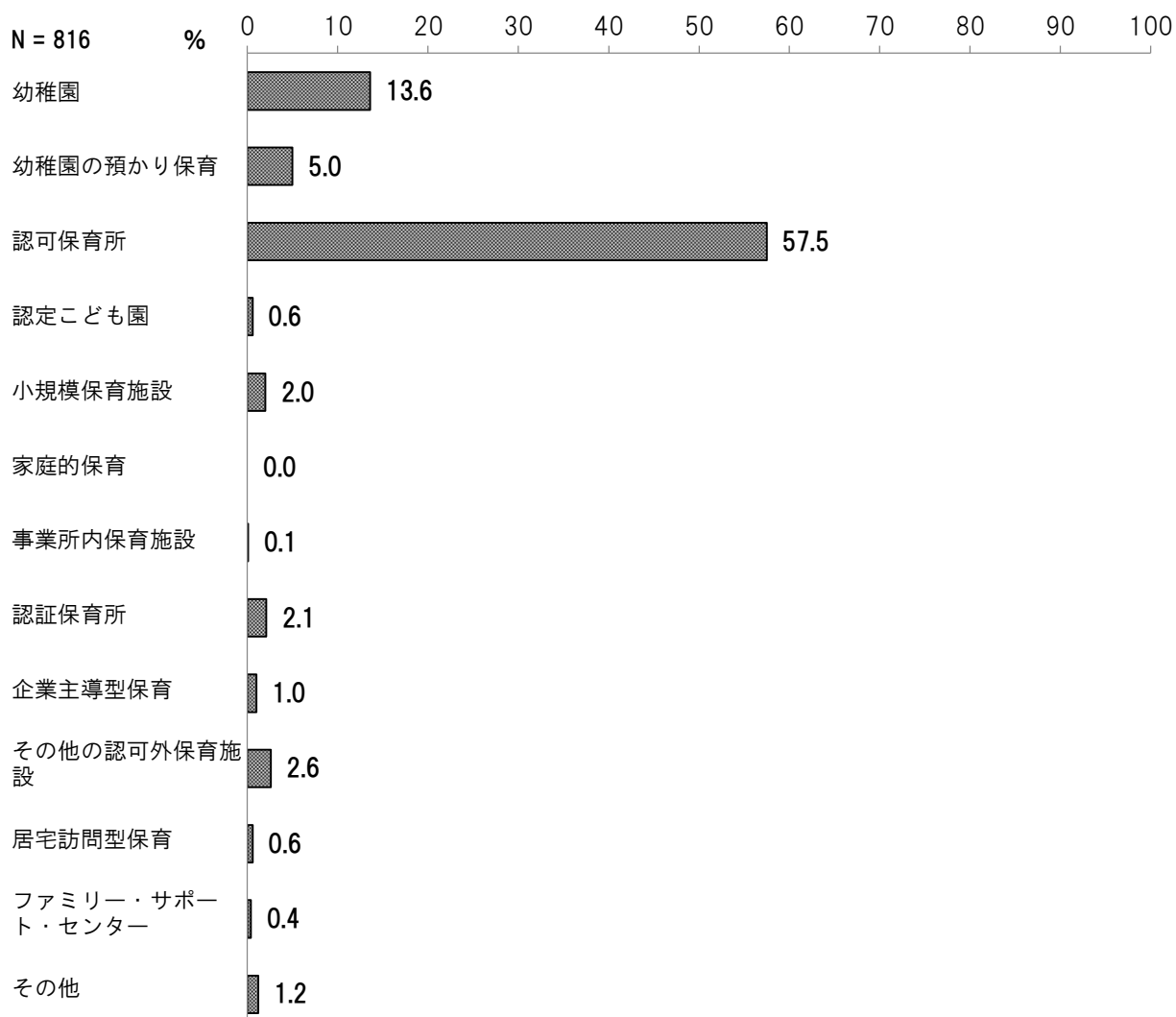
■ 7-7-1) お子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「利用している」が最も多く 81.0%でした。



■ 7-7-2) お子さんは、平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用していますか。(複数回答)

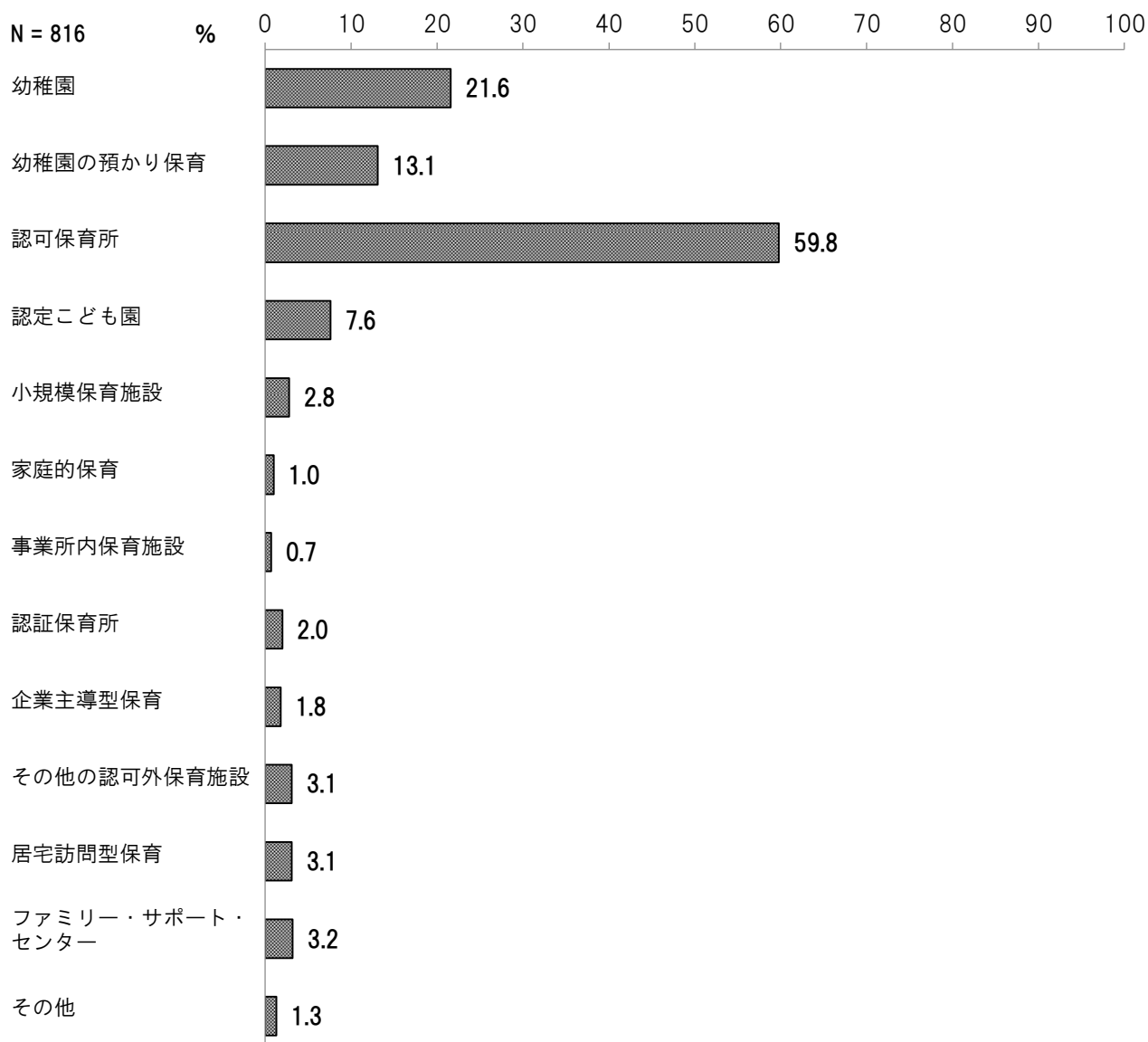
・ 就学前児童保護者は「認可保育所」が最も多く 57.5%、次いで「幼稚園」が 13.6%でした。



前保 8)

■ 7-7-3) お子さんは、平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用したいかの希望はありますか。（複数回答）

・ 就学前児童保護者は「認可保育所」が最も多く 59.8%、次いで「幼稚園」が 21.6%でした。



前保 8)

■ 7-7-4) 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。（複数回答）

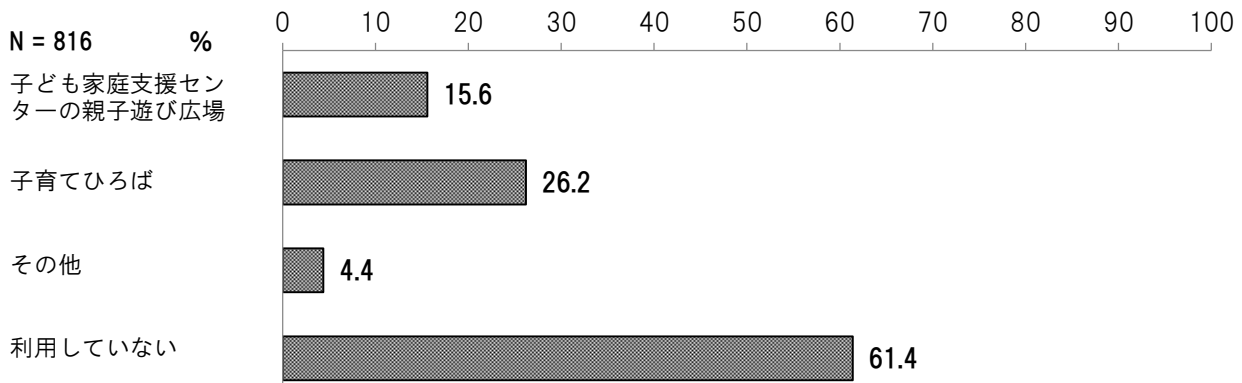
- ・ 重視するほうから5つ選んでいただいた結果、優先順位1は「自宅の近く」が最も多く57.6%、次いで「園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」が18.5%でした。優先順位5までの全体の傾向を見ると、「自宅の近く」が最も優先順位が高く、次いで、「園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」、「施設・設備が整っている」、「給食を提供している」の順になりました。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。重視する順番が高いほうから5つ選んでください。（％）					
	優先順位1	優先順位2	優先順位3	優先順位4	優先順位5
自宅の近く	57.6	15.3	8.0	5.6	4.3
子どもが将来通う小学校のある居住地区内にあること	1.1	4.9	2.8	1.8	2.5
職場の近く	0.6	2.0	1.1	1.0	1.1
駅の近く	0.6	3.9	3.4	2.1	1.3
兄弟姉妹が通っている	5.1	8.7	5.1	3.3	3.7
延長保育に対応している	2.9	8.1	8.2	6.9	8.8
夜間や休日保育に対応している	0.2	0.5	1.0	1.3	1.1
乳児保育を実施している	0.1	2.1	1.1	1.3	1.6
病児や病後児の対応を行っている	0.1	0.9	1.0	1.8	1.5
施設・設備が整っている	2.5	10.3	12.5	13.8	9.1
送迎サービスを行っている	0.6	0.6	0.6	0.7	1.3
給食を提供している	2.0	10.0	14.8	12.0	9.6
地域の評判がよい	1.1	4.5	6.5	6.7	7.7
保育料が安い	0.2	1.0	2.7	2.8	3.3
行事が充実している	0.4	1.1	3.2	6.5	9.4
園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい	18.5	19.6	16.8	15.0	9.1
保育だけでなく、さまざまな教育プログラムを提供している	4.7	4.4	7.2	7.8	12.3
その他	1.1	0.7	0.6	0.7	1.5
無回答	0.5	1.3	3.3	8.6	10.9

前保 9)

■ 7-7-5) お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする事業）を利用していますか。（複数回答）

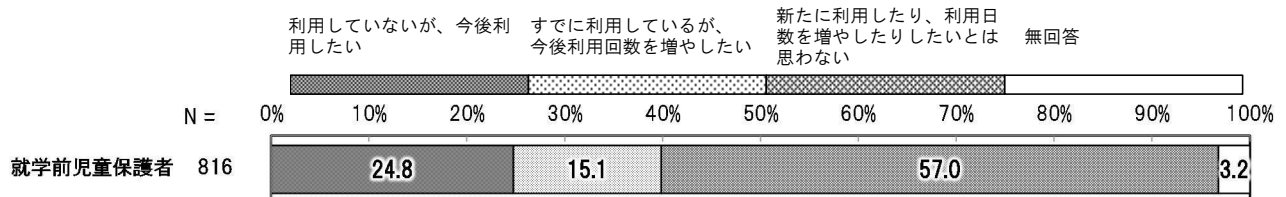
- ・ 就学前児童保護者は「利用していない」が最も多く 61.4%、次いで「子育てひろば」が 26.2%でした。



前保 10)

■ 7-7-6) 前保 10 のような地域子育て支援拠点事業について、利用日数を増やしたい、あるいは、今は利用していないが、できれば今後利用したいと思いますか。 SA

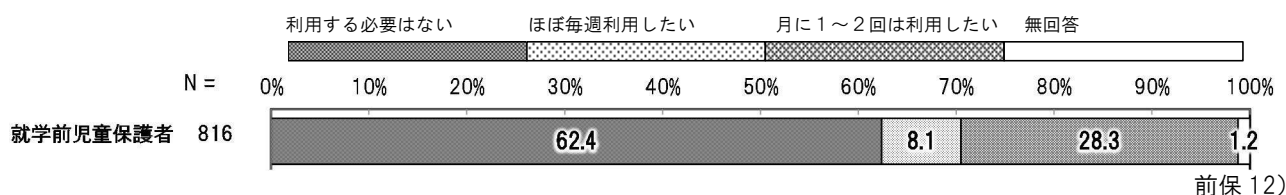
- ・ 就学前児童保護者は「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が最も多く 57.0%、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 24.8%でした。



前保 11)

■ 7-7-7) お子さんについて、土曜日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。 SA

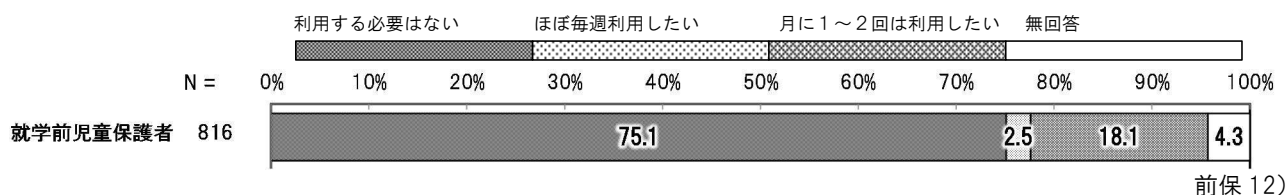
- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 62.4%、次いで「月に1～2回は利用したい」が 28.3%でした。



前保 12)

■ 7-7-8) お子さんについて、日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。 SA

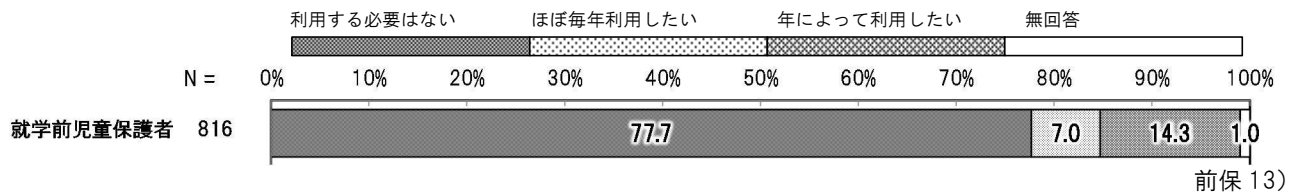
- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 75.1%、次いで「月に1～2回は利用したい」が 18.1%でした。



前保 12)

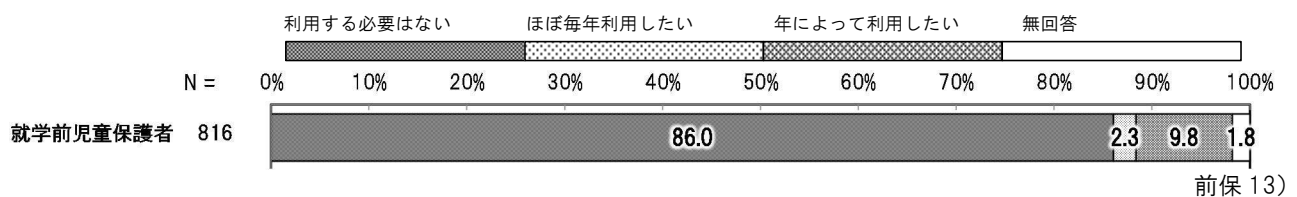
■ 7-7-9) お子さんについて、年末・年始に、教育・保育の事業の利用希望はありますか。： 年末（12/29 ～12/31） SA

- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 77.7%、次いで「年によって利用したい」が 14.3%でした。



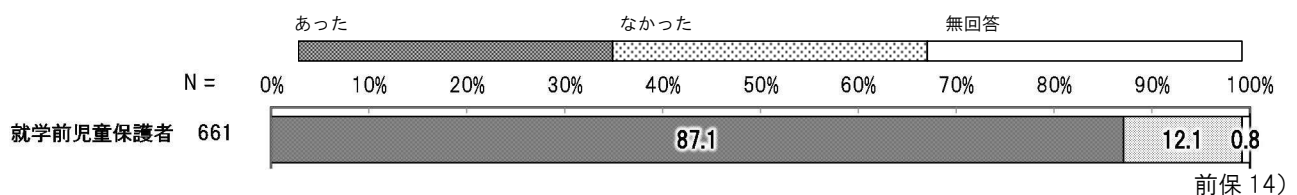
■ 7-7-10) お子さんについて、年末・年始に、教育・保育の事業の利用希望はありますか。： 年始（1/ 1～1/ 3） SA

- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 86.0%、次いで「年によって利用したい」が 9.8%でした。



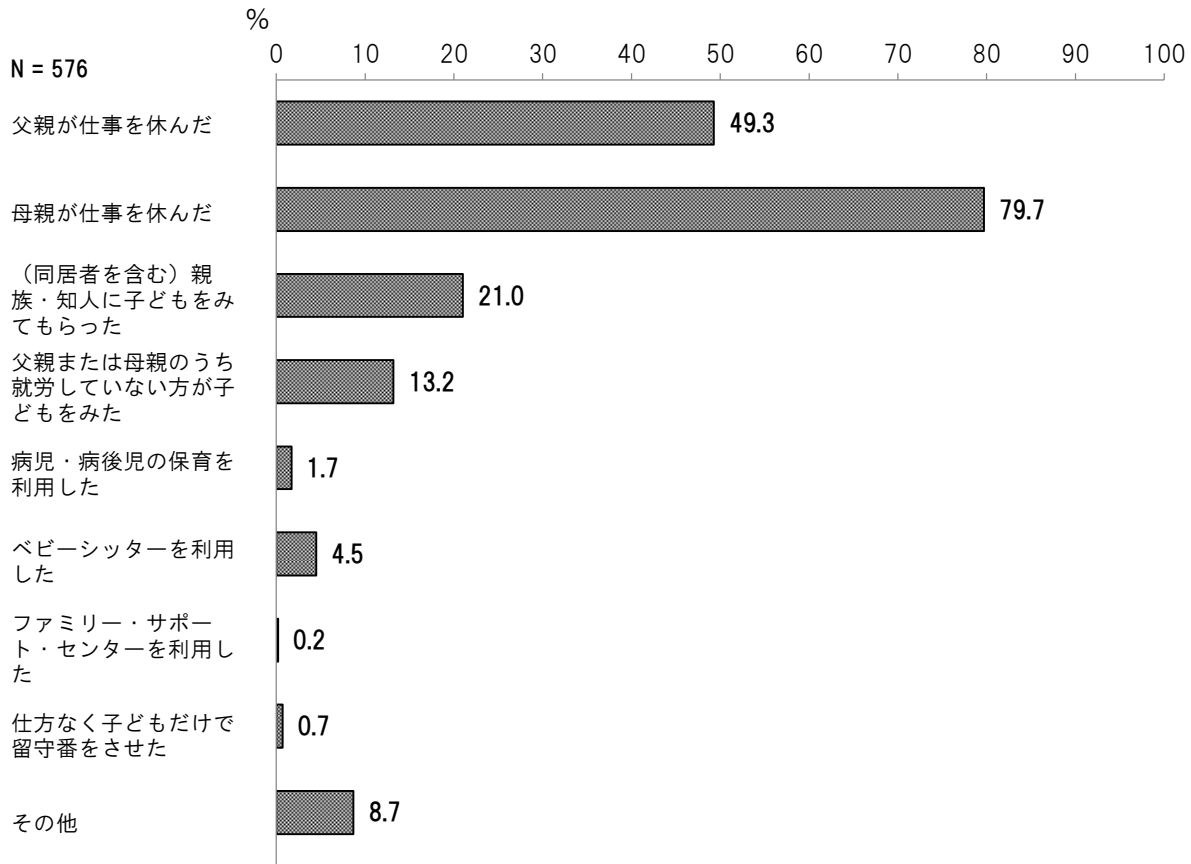
■ 7-7-11) この1年間に、お子さんが病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかったことはありますか。 SA

- ・ 就学前児童保護者は「あった」が最も多く 87.1%でした。



■ 7-7-1 2) この1年間に、お子さんが病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかった時、どのように対処しましたか。 (複数回答)

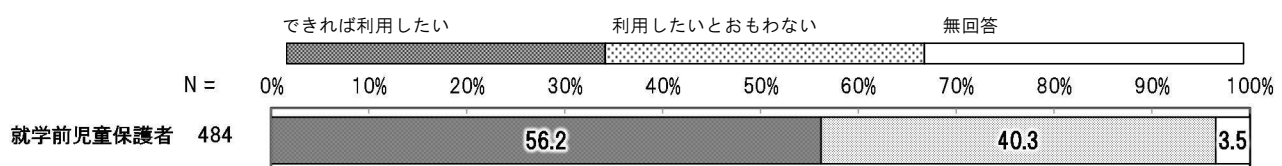
- ・ 就学前児童保護者は「母親が仕事を休んだ」が最も多く 79.7%、次いで「父親が仕事を休んだ」が 49.3%でした。



前保 14-1)

■ 7-7-1 3) 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。: 施設型 SA

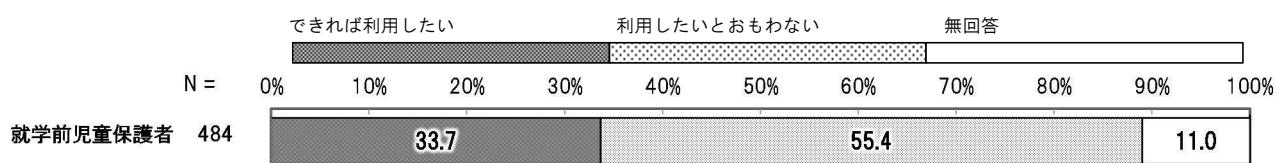
- ・ 就学前児童保護者は「できれば利用したい」が最も多く 56.2%でした。



前保 14-2)

■ 7-7-1 4) 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。: 訪問型 SA

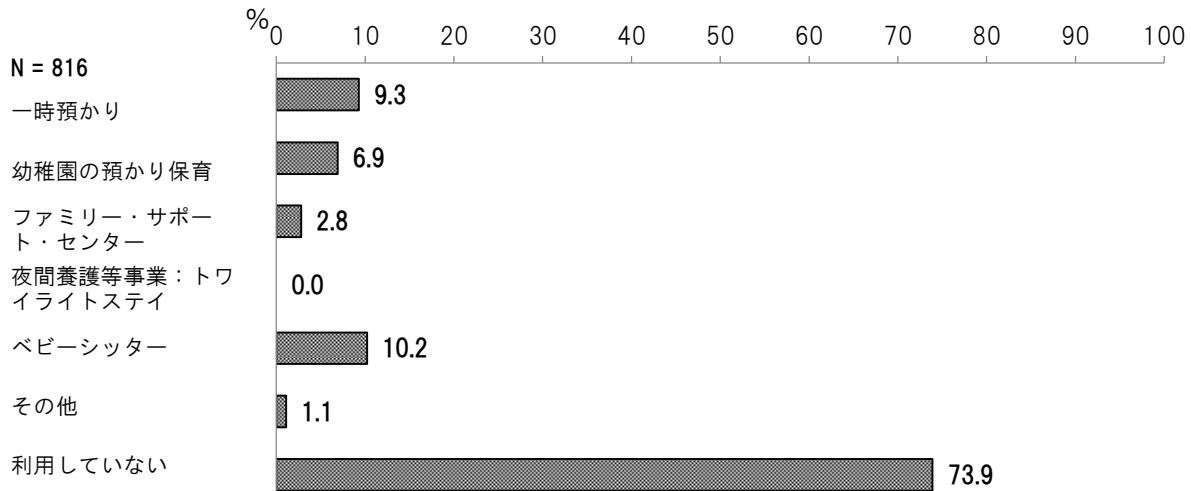
- ・ 就学前児童保護者は「利用したいとおもわない」が最も多く 55.4%でした。



前保 14-2

■ 7-7-15) 日中の定期的な保育や病気のため以外に、親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不定期に利用している事業はありますか。 (複数回答)

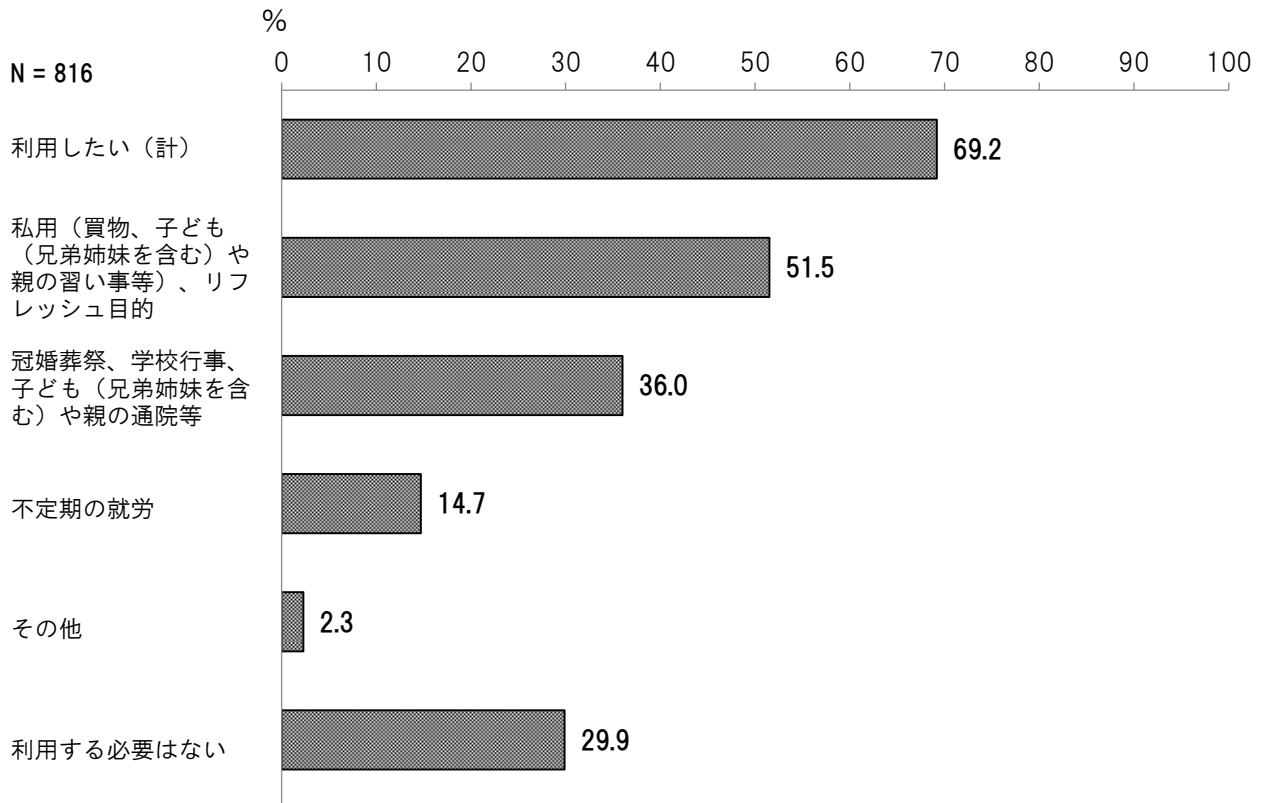
- ・ 就学前児童保護者は「利用していない」が最も多く 73.9%、次いで「ベビーシッター」が 10.2%でした。



前保 15)

■ 7-7-16) お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。希望の有無。 (複数回答)

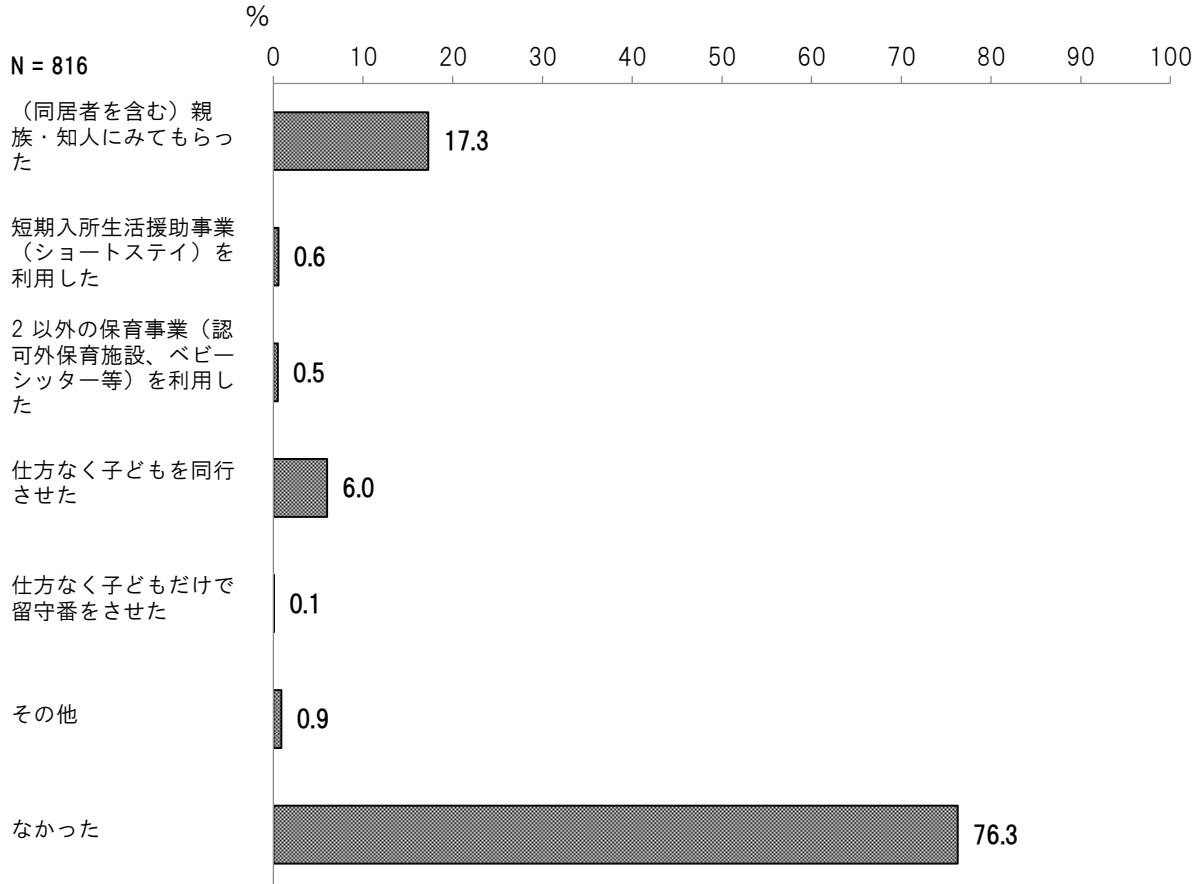
- ・ 不定期の教育・保育事業全体で、「利用したい」が 69.2%でした。うち、「私用、リフレッシュ目的」が 51.5%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 36.0%でした。



前保 16)

■ 7-7-17) この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（複数回答）

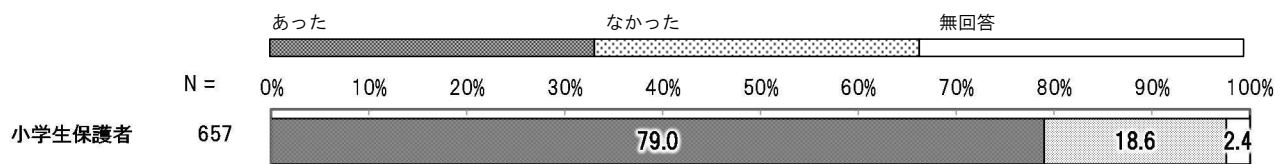
- ・ 就学前児童保護者は「なかった」が最も多く 76.3%、次いで「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 17.3%でした。



前保 17)

■ 7-7-18) この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありましたか。 SA

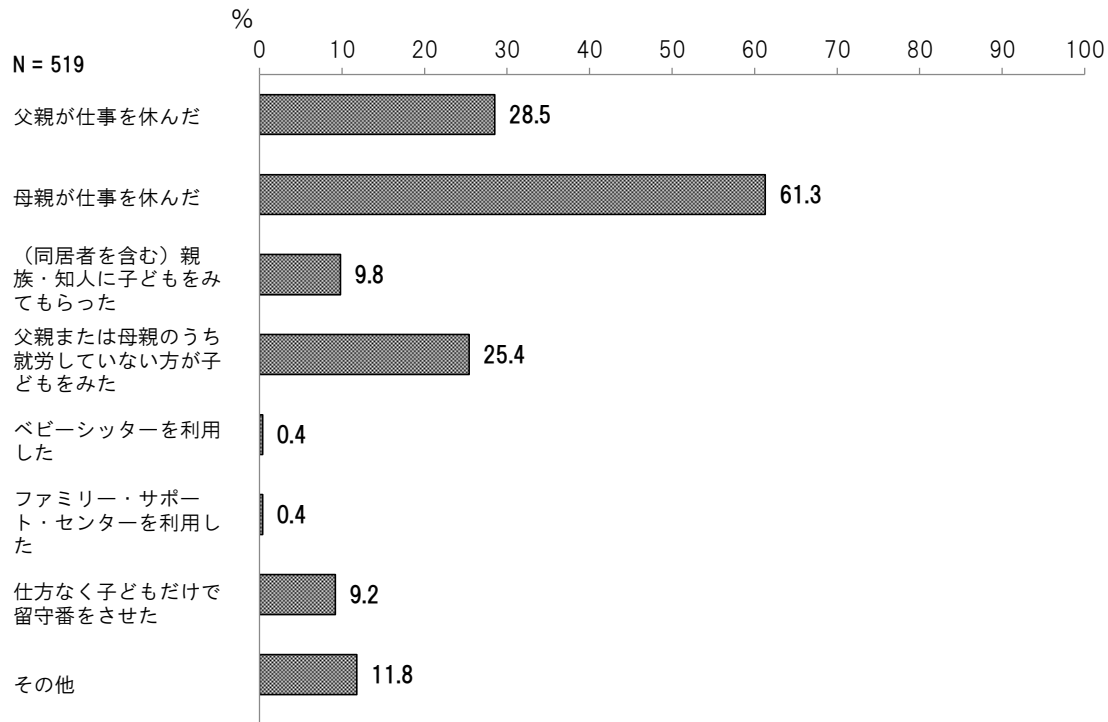
- ・ 小学生保護者は「あった」が最も多く 79.0%でした。



小保 11)

■ 7-7-19) お子さんが病気やケガで学校をやすまなければならなかったとき、どのように対処しましたか。 (複数回答)

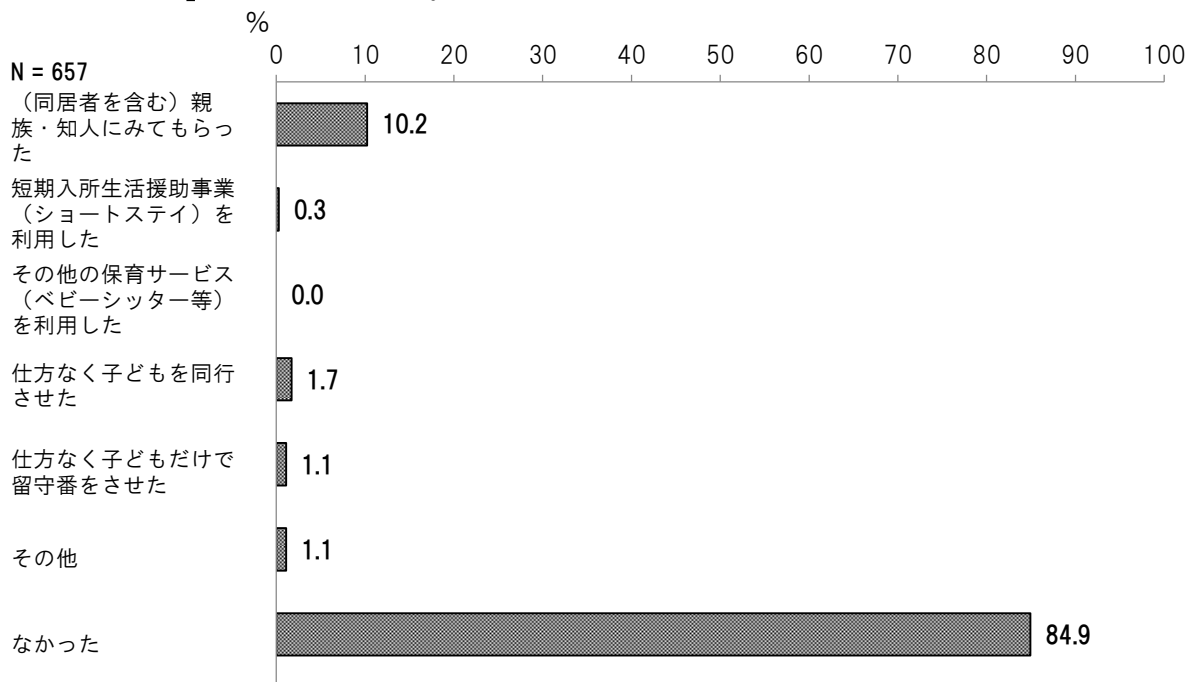
- ・ 小学生保護者は「母親が仕事を休んだ」が最も多く 61.3%、次いで「父親が仕事を休んだ」が 28.5%でした。



小保 11)

■ 7-7-20) この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。 (複数回答)

- ・ 小学生保護者は「なかった」が最も多く 84.9%、次いで「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 10.2%でした。



小保 12)

豊島区子ども・若者の実態・意識に関する調査

作成日：令和6年3月

委 託：豊島区 子ども家庭部子ども若者課

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1

TEL 03-4566-2471

受 託：株式会社 地域総合計画研究所

子ども若者総合計画改定スケジュール(案)

資料4	令和6年3月21日
	第5回子ども・子育て会議

【令和6年3月～令和7年3月】

	月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画案改定全体予定				計画の骨子案の作成・検討	計画の体系案の検討		掲載予定事業調査		掲載予定の重点事業決定		小・中学生意見聴取 若者意見聴取 パブリックコメント	子ども用概要版作成		子ども・若者総合計画の印刷
							子ども・子育て事業計画の量の見込み案の検討							
				6年度第1回 ◆骨子案の検討				6年度第2回 ◆素案の検討		6年度第3回 ◆素案の確定				
		5年度第3回 ◆アンケート調査の報告												
審議会の開催予定	青少年問題協議会(定例会)													
	青少年問題協議会専門委員会	5年度第5回 ◆実施状況報告書の確認		6年度第1回 ◆骨子案の検討	6年度第2回 ◆体系案の検討		6年度第3回 ◆5年度実施状況の検証 ◆計画案の検討		6年度第4回 ◆5年度実施状況の検証 ◆計画案の検討			6年度第5回 ◆5年度実施状況報告書の確認 ◆答申案の検討	6年度第6回 ◆答申案の確認	
	子どもの権利委員会	5年度第4回 ◆答申	6年度第1回(諮問) ◆子どもの権利推進計画の改定について	6年度第2回 ◆体系案の検討			6年度第3回 ◆5年度実施状況の検証 ◆計画案の検討	6年度第4回 ◆5年度実施状況の検証 ◆計画案の検討			6年度第5回 ◆5年度実施状況の検証			
	子ども・子育て会議	5年度第2回 ◆実施状況と今後の見込み	6年度第1回(諮問) ◆子ども子育て支援事業計画の改定					6年度第2回 ◆子ども子育て支援事業計画の検討		6年度第3回 ◆素案の検討			6年度第4回 ◆答申	
	子ども・子育て会議専門委員会			第1回 ◆区の保育園の現状について		第2回 ◆区立保育園の役割について		第3回 ◆人材育成について	第4回 ◆素案の確認				第5回 ◆提言	

《区民調査スケジュールの凡例》

	: 区が実施するところ		: 区民調査
	: 委員に検討いただくところ		: 区民からの意見募集